



2022年度 高ヶ坂・成瀬地区 市政懇談会

次 第

[日時] 2022年10月17日 (月) 18:30~20:00

[場所] 成瀬コミュニティセンター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 大貫 一夫
高ヶ坂・成瀬地区町内会連合会 上野 恵

○ 連合会長の挨拶

高ヶ坂・成瀬地区町内会連合会 会長 中村 清史

○ 市長の挨拶

町田市長 石坂 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

- 1 避難施設関連について 【防災安全部】
- 2 学校づくりについて 【学校教育部】
- 3 通学路の安全対策について 【学校教育部】
- 4 団欒室にガスを供給してください 【いきいき生活部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 高ヶ坂・成瀬地区町内会連合会 副会長 鈴木 敏高

2022年度 高ヶ坂・成瀬地区 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2022年10月17日(月) 18:30～20:00

[場 所] 成瀬コミュニティセンター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

防災安全部長 水越 祐介

いきいき生活部長 岡林 得生

学校教育部長 石坂 泰弘

市民協働推進担当部長 大貫 一夫

高ヶ坂・成瀬地区町内会連合会長 ほか22名

事務局 市民部市民協働推進課 5名

市民部なるせ駅前市民センター長

司会進行：市民協働推進担当部長

高ヶ坂・成瀬地区町内会連合会

- 高ヶ坂・成瀬地区町内会連合会長の挨拶
- 市長の挨拶
- 職員の紹介
- 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 避難施設関連について

統廃合される学校の防災拠点についてどう考えているのか見解を伺いたいです。

・これからの避難所開設訓練は行うのでしょうか。またどの単位での開催をお考えでしょうか。

・新しい学校ができるまでの間に災害が起こり避難が必要な場合のことは想定されていますでしょうか。

・統廃合されますと避難所の面積の絶対数が不足します。その場合の追加避難所の設定はどの様にお考えでしょうか。廃校となる学校跡地には必ず防災拠点となるようなものを併設するように強く要望いたします。

【回答】

防災安全部長

学校を統廃合することで、避難施設の数のご指摘のとおり減少することにな

ります。今後は、学校跡地をはじめ、統合新設校や周辺施設も含めて、その地域にとって最適な配置を目指しまして、2022年5月に公表された東京都の新たな被害想定をベースとした地域ごとの避難者推計を行い、必要な避難施設の規模を算定して、避難施設機能の維持を図ってまいります。

まず、学校統廃合に伴う工事期間中の避難先につきましては、近隣の避難施設に分散して避難していただくこととなります。今後、対象の町内会・自治会の皆様と想定避難先を決め、既にその想定避難先へ避難を決めている町内会・自治会との間で調整の場を設けさせていただきます。また、分散避難先である避難施設になっている学校では、受け入れる避難者増に応じた避難スペースを確保するため、体育館以外に空き教室をできる限り開放するなど、今後検討してまいります。さらに、避難施設である小中学校等の校庭やその他避難広場等での活用を想定しまして、本年度新たに、屋外用テントを町田市全体で960張配備する予定で、今後さらなる追加配備をすすめてまいります。また、この間の避難施設開設訓練につきましては、それぞれの避難施設ごとに訓練を実施いたします。次に、統廃合後の新たな学校につきましては、引き続き避難施設として活用いたします。

最後に、今から11年前の2011年3月に発生した、東日本大震災で大きな被害を受けた福島県のある自治体の話をさせていただきます。この地域では、かつてない大きな揺れを観測しましたが、家屋の半数は被害を受けているものの、何とかとどまることができる家屋を含め、引き続き滞在が可能な状態であったとのことでございます。つまり、被災された方々のうち、約半数の方々は自宅での避難生活を送ることができたということでございます。

当時、県や他自治体等からの支援により、1日約16,000食の食事が供給されたそうですが、その半分は、在宅等で避難生活を送られている方々の分として、避難場所に設置された供給拠点に取りにおいでいただいていたとのことでございます。

町田市におきましても、避難施設等への避難は最終手段であり、在宅等での避難を含め、様々な避難の方法について日ごろから検討をいただきたいことや、各ご家庭での備蓄についてお願いをしているところでございます。併せて、東京都や災害時応援協定を締結している自治体等をはじめとして、災害時の食料や生活必需品等の支援については万全を期してまいりますので、その旨お含みおきいただければと思います。

《質疑》なし

2 学校づくりについて

- ・統廃合の件を幅広く周知していただけるよう要望いたします。

地域の方々でご存知ない方が多く突然のお話に大変困惑しています。

・今後、保護者と学校の関わり方や先生の配置で例えば2つの学校の先生を半々にするとか統廃合を経験したことのある先生を配属させるとかを要望いたします。

何かお考えはありますでしょうか。

今後どの様に進めていくのかお伺いしたいです。

【回答】

学校教育部長

教育委員会では、2021年5月に推進計画策定したのち、「まちだの教育特別号」をはじめ、「広報まちだ」、「まちだの新たな学校づくり通信」等を通して、市民の皆様へ学校統合に関する取り組み状況をお伝えしてまいりました。特に、「まちだの教育特別号」については、学校統合に特化したものとして、2021年8月と、2022年4月に全戸配布させていただきました。

南成瀬地区など、具体的に検討を進めている地区の進捗状況をお伝えする「まちだの新たな学校づくり通信」については、対象地域の児童・未就学児の保護者、町内会・自治会長様へ配布をさせていただいております。そのほか、対象地域の「青少年健全育成地区委員会」、「保育園・幼稚園」等については、順次、個別に説明を行っているところでございます。

可能な限り周知活動を行ってきたところですが、周知が十分でないのご意見もいただいております。学校は、児童・生徒、保護者、教員などの学校関係者だけでなく、避難所や地域コミュニティ・市民団体の活動の場であり、あらゆる世代に関わりのある、地域の施設でございます。

引き続き、幅広い世代に向けて、積極的な周知活動を行っていきたいと考えております。

学校統合に伴う教員の人事についてお答えします。

学校統合にあたりましては、統合直後の児童・生徒の環境が急激に変わらないよう、次の2点を東京都教育委員会に対し要望してまいります。

1点目は、統合元となる学校の教員を、バランスよく配置すること、2点目は、学級数により定められている教員の数のほかに、統合支援のための教員を追加で配置することです。教員の人事は、教員の在校年数や経験などをもとに、学校と町田市教育委員会が異動計画案を作成し、東京都教育委員会へ提出します。東京都教育委員会は、都内各自治体から提出された異動計画案をもとに教員の異動を検討し、決定します。なお、こうした点につきましては、文部科学省は『公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引』の中で、統合前後において、人事面での支援を行うことが東京都教育委員会の重要な役割であると通達しております。

《質疑》なし

3 通学路の安全対策について

- ・統廃合の為に通学路確保が難しい所があります。新しい通学路にガードレールやポールを設置また白線を引くなど積極的に動いて下さるよう要望いたします。特に今まで使用していなかった道路が通学路になります。危険な所は要所要所にシルバー人材センターに依頼をすとかをお願いいたします。今の段階で何かご検討はされていらっしゃいますでしょうか。

【回答】

学校教育部長

統合に伴う通学路の安全対策については、2022年5月に南成瀬地区基本計画検討会においてワークショップを行い、新たな通学路の候補と考えられる箇所を中心に、検討委員の間で道路や交通の状況から気になることなどの意見を出しあい、議論を行いました。この議論をもとに、検討会委員による現地確認を2022年7月に実施しましたので、その現地確認の結果を踏まえて、通学路の設定にあたっての懸念点や、それを改善するための対策の方向性等について、基本計画検討会の中で議論を深めていく予定です。

その中で、いただいたご意見をもとにガードレールやポールの設置、白線等含めてどのような安全対策ができるのかについて、交通管理者である町田警察署及び南大沢警察署や道路管理者である東京都及び町田市の担当部署と協議していきます。

今後は、2025年度に予定している南第二小学校と南成瀬小学校の統合に向けて、通学路安全点検を2年前の2023年度に実施します。

また、ハード面の整備だけではなく、通学路の見守りについても地域のボランティアなどの協力者を募るなどの対策が必要だと認識しています。

《質疑》

向陽台自治会

今、通学路の安全性についてご説明をいただきましたけれども、ご説明いただいたのは成瀬地区だけですが、高ヶ坂小学校、町田第六小学校、南大谷小学校も統廃合の対象になっています。建築中は一旦今の小学校から外に出てまた戻ってくるといった動きになります。高ヶ坂地区の小学校の統廃合についてこの通学路の安全性というのは、これから検討に着手するという事でしょうか。

学校教育部長

お話しいただきましたように、高ヶ坂地区の場合は、町田第六小学校と高ヶ坂小学校と南大谷小学校が対象となっています。基本計画の検討会というのがあるのですが、その着手が2027年度からとなっております。その前に実施する意見交換会が2026年度ですから、その辺からお話を始めまして、新しく統合する小学校の通学路については、そこで検討してまいります。ただ、今ある小学校につきましては、2年に一度、必ず通学路点検を実施しておりますので、それを継続したままで、それ以外にこの統合の際、統合後の統合地区の通学路というのを決定して、それに対して安全点検を行ってまいります。

高ヶ坂第一町内会

何故、統廃合をするのかが非常に疑問です。その辺りをわかりやすく説明していただきたいのと、体育館がおそらくなくなると想定しています。高ヶ坂小学校でいいますと、体育館の開放がかなり活発に利用されていて、地域の非常に大切な場所になっています。そこでみんな一生懸命活動して地域をつくり上げていく。そういう場所がなくなっていくというのを非常に危惧しています。その辺りをどのように考えているのか、ご説明をしていただきたいと思います。

学校教育部長

学校統合の必要性についてですけれども、町田市で考えていますのがまず2040年までに子どもの数がどんどん減っていく。現在、人口は微減したり、微増したり、そういう状況ですが、子どもは着実に減っています。そうすると、一学年が単学級という学校がたくさんできてしまう。それで一学年単学級というのを避けたくて適正な規模の学校をこちらとしては維持していきたいと考えています。実際の学校の先生方や保護者の方から意見をいただいて、複数学級を維持していくために、このような統合ということをさせていただいております。あと、学校の今の施設跡地につきましては、それぞれの部署で検討している最中ですので、現時点ではお答えすることができません。

町田市長

仮になくなるというか移転する学校跡地をどうするかというのは、既に行っているところは話し合いが始まっています。例えば、学校をやめる。だけど、校舎を残す、残さない、あとどのように使うのか。体育館を残すか残さないか、残すとすれば、どのように使うか。学校じゃなくなった時の使い方についても、実はもう既に始まっています。既に始まっているのは、新しい学校の名前をどうするかみたいな議論もしているのですが、それより先ほど出ました、避難施設としてどのように使えるかということと、地域の施設、地域の住民が主に使える施設として何かできないのかという議論をもう既に今の5つの地区では始めています。なので、お話のようになくなってしまいうということではなくて、

どう使うか。もし体育館が老朽化でどうにもならなければ、それは別ですが補強で使えるのであれば体育館だけを残すという方法もありますし、集会施設のようなものをつくるべきだという意見もありますので、なくなる方の学校についての議論も実はしているということなので、付け加えさせていただきます。

南成瀬中央町内会

統廃合の件を幅広く周知という件ですが、全戸配布とありましたが全戸配布したからといって、あまり周知されてないというのが肌感覚であります。子どもが減るといのはわかります。子どもを産むべき人たちに対してアピールすることが先決じゃないかなと思います。学生とかもって社会人1年目、2年目、3年目とかの人たちに対して周知した方がいいと思います。そのような人たちはどこで見るかというと駅だと思います。お仕事をしていたり、通学していたりとかするから、駅にポスターを貼るとか、そういうことって何故できないのかなと思っているのですが、そういうことは行わないのですか。

学校教育部長

若い世代に周知というところで、実際に今やっているのは保育園で未就学児の保護者の方へお知らせするということですね。それ以下のもっと若い世代ということになりますと、おっしゃるように全戸配布とかでしかアプローチできていない点はあるかと思えます。周知している割には皆さんに伝わっていないと感じるところもありますので、いろいろな方法を模索しながら、今回、ご意見をいただけたので、参考にして皆さんにお知らせしていきたいと思えます。特におっしゃっていただいた若年層は非常に大事ですので、その世代の人たちに我が事として考えていただけたらというふうに考えております。

4 団らん室にガスを供給してください。

都営高ヶ坂第2アパートは1～6号棟まであり、3・4号棟に町田市が管理するシルバーピアという部屋があります。3号棟にはシルバーピア用の団らん室があり、そこには炊事場が整備されておりますがガスの供給が止められています。現在、地域の有志でみんなの食堂を第2アパートの集会所で運営しておりますが第2アパートの集会所は狭く、20名以上の方々が炊事をするには新型コロナウイルス感染リスクが非常に高いと思えます。3号棟の団らん室は当集会所の3倍以上広く、20名以上のスタッフが作業するには適当と思われま

す。みんなの食堂の事業を続行するにあたり、高ヶ坂第2アパート自治会の名義で利用料金を支払いますので、みんなの食堂で団らん室の炊事場の利用ならば

にガスの供給を認めて頂きたいとお願い致します。

【回答】

いきいき生活部長

シルバーピアは、バリアフリーで緊急通報システムなどを備えた高齢者のための集合住宅であり、入居者が利用するための団らん室が設置されています。団らん室は、入居者同士の交流やコミュニティづくりを円滑にすることを目的としたスペースです。

団らん室にはガス機器が設置されていますが、入居者がコンロにやかんをかけたままにするなど、危険な事例があったため、安全管理上の理由から、2020年6月に、市内全てのシルバーピア団らん室のガスの供給を停止いたしました。ガス機器はお茶を飲むための湯沸かし程度の利用であったことから、現在は電気ポットを設置しております。ガスの供給については、今後も再開する予定はございません。

なお、この度ご要望いただきました内容につきましては、みんなの食堂の代表者から同様のご要望をいただき、市担当者から、既にガスの供給は再開しない旨を回答し、ご了承いただいております。

《質疑》

高ヶ坂第一町内会

今、非常に地域の輪、関わる人たちの輪もできており、区域内の農産物などを出していただけるような形でみんなの食堂が盛り上がっています。そのような状況で集会所のガスだとどうにもならないということで要望を出しています。せっかく、ガス設備があり有効に使える施設があるにもかかわらず、先だって回答をいただいたのですが、私は非常に不満です。何とか工夫して、地域のために貢献できるようにという発想はないのでしょうか。居住者の安全上問題があるのであれば、子メーターをつけてみんなの食堂の時間帯だけ使えるようにするとか、その地域の活動をもっと盛り上げられるようにするのが、本来の行政の役目だと思います。一律的に他の施設と同一に使いなくするのはないのではないかと素直な思いです。今、一生懸命協力してみんなの食堂手伝っています。何か工夫できることはないのでしょうか。

いきいき生活部長

この団らん室は、そもそものシルバーピア入居者のための施設です。おっしゃることは地域を盛り上げるということで主旨もよくわかりますが、基本的には入居者用の施設という設定でつくっております。なので、地域に開放するという考えは今のところないものでございます。ガスの利用ということですが、現在ガス機器が足りないということでよろしいでしょうか。

高ヶ坂第一町内会

もちろんガス台、場所が狭いのでこの団らん室のガス設備を使わせていただければ、拡充したものを作って提供もできるかなと、もう少し大人数でも対応することができるかなと、みんなの食堂の全員がそのように考えています。これに対する回答がそこで終わってしまうのは非常に残念です。地域としてこのような活動をやることは非常に意味があります。みんなの食堂を始めたきっかけというのは、晩御飯も食べられないような方たちが結構いらっしゃるの民生委員の方たちのお話からスタートしています。であれば、高ヶ坂第2アパートの居住者の方たちが今でもそのような状況で利用されているので何とか工夫してもらえませんか。持ち帰って検討していただけたら、そういう前向きな回答をお願いします。

いきいき生活部長

先ほど私はガス機器が足りないのでしょうかというご質問をさせていただきましたが、これまで、みんなの食堂の代表の方といろいろな相談、調整をしております。お話の中で現在はキャベツを切るということをされており、弁当は購入したおかずの詰め替えをしていると聞いております。現状でガス機器を使っているという情報は得られていないので、ガス機器をお貸しすることにはならないと考えております。

東京都住宅供給公社高ヶ坂住宅自治会

ガスは危なくダメとのことですが、電気ポットがあるのであればIHか何かで対応とかできないですか。

いきいき生活部長

IH機器については使用しても大丈夫です。ただし、団らん室はシルバーピアの入居者のためのスペースとなっておりますので、シルバーピアの方の交流などで使うように委託業者をお願いしているところです。

高瀬住宅自治会

学校のことになりますが、私どもの集会所では1週間に2回、月曜日と木曜日にいわゆる不登校児のフリースクールを開催しています。この学校統廃合において、増え続けている不登校児に対する取組みも考えいただいているのでしょうか。教員は派遣されていませんがお母さんたちがわが子のために何人か付き添って集団生活に馴染めるように、1週間に2回参画していただいています。

学校教育部長

不登校児の話ですが、不登校児が年々増え続けているというのは事実でございます。私どもとしましては現状適応指導教室というものがありますが、そういうもので十分なのかということは考えています。その他にも、現在より手厚く、手広く取組むことができないかと考えています。学校統廃合とは直接は関係しないですが、喫緊の課題だと思って取り組んでおります。今後もこの課題については、素早く対応していきたいと思っております。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

皆様に今日お配りさせていただきました、「2022年度市政懇談会市政報告概要」という資料をご覧くださいと思います。2022年度の市全体の主な事業みたいなことが書いてあります。ここを拾いながら説明をさせていただきます。

まずは、新型コロナウイルス感染症でございます。完全に終息させるにはかなりの努力が必要で、それも地域の皆さんが少なくともマスクをすとか、手洗いをすとかをずっとやってこられた、その成果がこうやって収束につながっていると思います。市長が何を言おうが、地域の皆さんが感染症対策をやらなければ完全に収束しないわけでありまして。改めて、その点についてはお礼を申し上げたいと思います。

最初に子どものお話をいくつかさせていただきます。まず、病後児保育施設についてです。10年ぐらい前までは病児保育施設というのはなかったですが、最初に忠生で病児保育が始まり、その次に原町田。今回、今年の4月に南町田の駅前に3か所目が設置されました。ポイントとしては、八王子市民、相模原市民両方ともこの町田市の施設が使えます。さらに言うと町田市民が隣にある八王子市、相模原市の病児保育施設を使うこともできるという協定を3市で結びました。今一生懸命やっているのは、隣の川崎市と協定が結べないかと考えておまして、協定ができれば鶴川方面の方は川崎市の病児保育施設を使えることになると思います。

次は待機児童数です。去年が76人、今年が75人です。なので今年度、この対策として南地域に80人定員の保育所を今つくっている最中です。何とか来年に間に合わそうと建設しております。町田市内の待機児童75人のうちの半分以上は南地域に待機児童が集中していますので、南地域につくらないといけないということがあります。先ほど学校の話で子どもの数が減っているとありましたが、町田市は他市からかなりお子さん連れが転入してきています。そのため、保育の政策の方からすると頑張らなきゃという感じです。

今後も小規模の19人以下の保育園は必要であればつくるとは思いますが、このような大きな定員の保育園をつくる予定はありません。

児童相談所を町田市に誘致する活動をしています。町田市を所管している児童相談所は東京都立八王子児童相談所です。高ヶ坂・成瀬地区とか南地区とかに訪問するとなると八王子市から来ます。とても効率が悪いので、町田市に都立の児童相談所を設置してくださいということを東京都福祉保健局にお願いをしています。

(仮称)子どもにやさしいまち条例という条例を2023年度中に制定しようと準備をしています。「子どもにやさしいまち」は英語のチャイルドフレンドリーシティというのを日本語に訳したもので、子どもに寄り添ったまちにしようということで、審議会を開いて検討しています。

小山田こどもクラブいわゆる児童館の整備をしていまして、来年の7月に小山田に児童館が開館します。本当は去年の春に出来上がっているはずだったのですが、一昨年のウッドショックというのがありまして、木材が手に入らないということで設計そのものからやり直したという経緯があります。そのため、1年以上ずれ込みました。場所は小山田桜台団地に今建設中です。

学校については先ほどお話がありましたが、新たな学校づくり推進、学校の統合の推進ですが、2022年度は5地区で基本計画をつくっている最中です。この5地区で鶴川団地の方でいえば、鶴川団地ができたときに鶴川第二小学校ができました。その後、団地の真ん中に鶴川第三小学校ができて、そのまた西側に鶴川第四小学校できて3つ並んでいます。いずれの学校も子どもの数が減ってしまっているという状態で鶴川地区でも3つの学校を2つにしようという話し合いがされています。そこでも、後をどのようにするかという議論は、町内会・自治会の人たちも含めて行っています。

中学校給食センターの整備を全市で3か所に行います。2024年の2学期から2025年の間に全20校で一斉に全員給食を始める計画です。各学校に調理施設をつくって調理をするのではなく、給食センターを3か所整備し一斉にトラックで運ぶ方式としています。学校の給食についてはいろいろな論がありますが、最近は保護者が全員働きに出ている家がすごく増えていますので、小学校のように給食があった方がよいということで中学校でもこのような計画を進めております。高ヶ坂・成瀬地区については、成瀬クリーンセンターの隣に南地域の給食センターができます。ちなみに町田地区は旧忠生第六小学校の跡地につくる給食センターからトラックで運びます。

教員の負担軽減については今、部活動の指導員を全校に配置しています。部活の遠征や土日どこか引率で試合に行くときは、指導員の人に行ってもらっています。それから、2020年度から給食費、2023年度から教材費は市が集めるようにしました。少しでも教員の負担を軽減しようという考えでこのようなことをやっています。

特別養護老人ホームについては、12年前くらいでは申し込みから入居まで1年未満に入れた人は45%でした。なので待つ人は2年、3年待つという状態でしたが、今は86%となり、9割近い人は申し込んだら1年以内に町田市内の特別養護老人ホームに入れるようになっていきます。

次が香山園の整備についてですが、鶴川の駅前に香山園という庭園がありましてその建物の耐震工事をやっています。2024年度内に新しく開園をする予定です。

多摩都市モノレールについては、2021年の12月にルート選定が終わり、1月に発表されました。今後、モノレールの整備をしなければならないという状況なので、5年、10年では走らないかなと思っています。

スポーツ公園整備についてですが、野津田公園のテニスコート4面が2023年4月に使えるようになります。

それから、町田市バイオエネルギーセンターの隣を公園として整備しており、2023年の9月に忠生スポーツ公園としてオープン予定です。小山上沼、後田は2023年4月にスポーツ公園としてオープン予定です。西田金森調節池上部の運動公園は2026年4月にオープン予定です。このところ、かなりの数の運動公園を整備しています。

鶴川駅の南北の開発は既に始まっていて北口の駅前広場が工事中です。また、南町田クランベリーパークのように北と南を結ぶ通路を作る予定です。南口は区画整理事業を実施して駅前広場をつくろうという予定になっています。2023年度工事に入る予定です。

それから（仮称）国際工芸美術館は実施設計中です。2026年3月の開館を目標に設計をしています。このほかに、芹ヶ谷公園の案内や喫茶店、版画工房、アート体験ができる建物を2024年に着工して2025年、つまり工芸美術館がオープンする半年前に開館しようということで進めています。また、芹ヶ谷公園の中にエレベーターを作る計画を進めています。2025年度完成予定です。

最後に熱回収施設ですが2022年2月に火事になりました。原因はリチウムイオン電池とみられており、ごみの処理の途中で衝撃を与えると火事になってしまいます。7月から分別をお願いしていますので火事は減りました。きちんと分けるように現在、お願いしているところでございます。一番下の資源ごみ処理施設の相原地区については、大戸小学校のやや東側に今計画をして、2025年度には完成する予定です。プラスチックの処理は南地域の皆さんには既にご協力いただいて分別していますが、当施設ができると町田市の西の方から中央にかけて分別が広がります。

《質疑》

高ヶ坂第一町内会

工芸美術館は博物館の代替え施設と認識しております。しかし、博物館については2008年の事業仕分けの中で廃止となったように聞いていますがなぜ、工芸館美術館を建設するのか、さらになぜ工芸美術館を山の斜面につくるのか説明していただければと思います。

町田市長

博物館については、縄文の土器を中心に歴史的な考古学系統のものや岩田ガラス、クメール・カンボジア・ベトナムの陶器など他ではあまり持っていないものを保有しています。今お話に出た事業仕分けの中では博物館の立地が悪いということが一番大きな指摘でありました。博物館があるのが悪いのではなくて、アクセスが悪くて人が来ないということを理由に事業仕分けでは限りなく廃止に近い形となりました。しかし、それだけの貴重なものがあるのに廃止というのはなかなかできないと思い、もっとたくさんの人に来ていただけるような場所に引っ越した方が良く考えました。そのため、町田駅、中心市街地に近いところに立地することとしました。また、以前工芸美術館を平地に建設する計画を立てましたが工芸美術館に面する住宅がたくさんあり、住んでいる人のプライバシーの権利を尊重するためその計画を断念しました。そのような経過があり、もう一回設計をやり直して国際版画美術館の隣接斜面地に建設するという予定になっています。

向陽台自治会

現在、実施設計作業中で2022年度末着工とありましたが、原町田側の芹ヶ谷公園入口に工事看板が出ています。そこでは2023年5月末に工事着工とありますが、この工事着工日はどこかで公開、公表されているのでしょうか。看板を見ないとわからない。たまたま、看板を見つけて工事が始まると疑問に思ったのですが。

町田市長

着工の日は公開されていると思います。それから2022年度末と資料には記載しておりますが、予定としては2023年3月議会で契約議案が成立するというつもりでいます。契約が議会で承認されても着工はもう少し先になるということで、5月末と書いていると思います。

芝好園自治会

芹ヶ谷公園の周辺は生活道路になっています。すごく良い版画美術館、工芸美術館が出来るといろいろなところから人が集まってきます。そのため、生活道路がすごく渋滞すると想定されます。大きく言うとひょっとしたら国際工芸美術館と国際がつくと外国人がバスで来るかもしれない、そういうことま

で想定していただきたい。あの辺りの狭い道路をいろいろな車が駐車場を探し回ることとなります。それを今からでも考えてみていただきたいです。それを考えないと、周辺住民が非常に困ります。美術館をつくるつくらないではなく、美術館ができたときに周辺住民が困るということを考えていただきたいということです。

町田市長

実は、都営住宅の跡地を公園にする際に大型バスも通常の普通の乗用車もかなりの台数を収容しないといけないと感じて跡地に駐車場をたくさん作ろうと思ったのですが、そこにたくさんの駐車場をつくられたら困るとの声を地域の方からいただきました。ということで、工芸美術館のための駐車場というのは交渉を随分したのですが確保できませんでした。駐車場は質問されたとおり必要ですが、生活道路を車がたくさん走るのは困るというのも確かに道理です。ですから、駐車場は必要。けれどもたくさんの駐車場をつくられたら困るという両方の意見で、最終的には都営住宅の跡地に非常に少ない駐車場をつくった形になります。この駐車場の隣に臨時駐車場があり、今はイベント時だけ利用可能としていますが、工芸美術館がオープンしたときには土日だけ使うなどの計画をして、何とか渋滞を避けようと思っています。あとは駅から歩けますので駅から歩いてくださいと。歩くと坂があるというのであれば、それはエレベーターを作りますのでエレベーターをご利用くださいということです。

芝好園自治会

その対策で本当に耐えられると思いますか。現実的には厳しいかと思います。

町田市長

あとは今のシャトルバスの頻度では足りないのでシャトルバスの増便をするとか、そういった手立てをすることになると思います。

○閉会の挨拶

高ヶ坂・成瀬地区町内会連合会 副会長